

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	子育て支援総合窓口事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	03	02	01	08
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課			
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり		主管課長	熊井 彰			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	子ども、その保護者、妊婦等	意図	ひとりひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現のため、多様な子ども・子育て支援を円滑に利用できるようにする。
事業内容	待機児童解消のため、保育士等の資格を持つ子育てコーディネーターが保育所（園）、幼稚園及び子育て支援センター等の地域の子育て支援施設について情報提供や相談・支援を行うとともに、保育所の待機児童の保護者に対し、保育状況や意向確認などのフォローアップを行っている。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年8月から子ども・子育て支援法第59条第1号に基づく利用者支援事業として「おやこあんしん相談」窓口を開設した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	就園相談	571	571	945	件	↑↑↑	
②	発達、発育相談	80	93	205	件	↑↑↑		
③	遊び場案内	561	542	918	件	↑↑↑		
④	入園決定者	66	114	81	件	↑↑↑		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,990,473	5,829,144	6,098,619				
事業費(b)(円)		2,379,473	2,248,744	2,472,219				
うち一般財源		793,473	750,744	760,219				
職員給与費(c)(円)		3,611,000	3,580,400	3,626,400				
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		2.00	2.00	2.00				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	子育て支援センターなどに出向いて相談を受けるほか、周知を図る	③取組における課題(Check)	相談件数も増えており、複雑なニーズを抱えている相談も増えてきている。相談員の資質向上と更なる周知を図る必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	要望のあった子育て支援センターにおいて、相談対応した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	研修等に参加し、知識を深めるほか、必要な機関と連携し相談対応していく。